

入札監理小委員会における審議の結果報告

独立行政法人国立病院機構 物品調達業務

独立行政法人国立病院機構の物品調達業務については、公共サービス改革基本方針（別表）において、平成23年4月から平成25年3月までの契約期間2年間として民間競争入札を実施することとされている。

これに基づき、当該民間競争入札の実施要項（案）を入札監理小委員会において審議したので、その結果を以下のとおり報告する。

1. 事業の詳細な内容等（実施要項（案）P2～7）

【論点】

事業の詳細な内容等が、民間事業者にとって分かり易い内容となるよう必要な検討がなされているか。

【対応】

民間事業者からの意見募集の結果等を踏まえ、事業の内容及び契約の締結方法等について明確に記載することとした。

2. 落札者決定の評価方法（実施要項（案）P9、別紙3）

【論点】

落札者決定の評価方法が、中立性・公正性を担保したものとなるよう必要な検討がなされているか。

【対応】

落札者決定の審査において、民間事業者からのプレゼンテーションの取扱を明確にするとともに、外部有識者を含めた評価を実施することにした。